

## 風と共に去りぬ

同窓会会長 國 分 清 和

(昭和51年卒)



皆様6年にわたり大変お世話になりました。同窓会の定款においては会長職の任期は3期6年までと決められております。この6年間に、大学と同窓会を二輪車に見立てた協力体制の確立、代議員の活性化を通じての同窓会の活性化、白樺生祭への積極参加やチャリティーを通じての学生とのかかわりの向上、キャンパス移転における学生本位のグランドデザインの作成協力、奈良医大駅成就のための根回し、「未来への飛躍基金」への協力、基金への協力にとどまらず基金の用途に対する積極参加、その結果としての同窓生も使用可能なシミュレーター導入への参加、コロナ禍にあって会員への連絡網の拡充、厳樞対談を通じて同窓会の皆様への大学の現状の伝達などなど振り返りますと一心不乱に同窓会員に良いと思われる事、会長に就任した時の夢に描いたことに取り組んでまいりましたが気が付いたら6年たっていたというのが実感です。特に後半の3年間は新型コロナウイルスの発生と時を同じくして奈良市医師会の会長職も任され市民県民のためのワクチン接種体制の確立や発熱外来の運営など多忙を極めました。今ここに一方の肩の荷物を降ろせることにほっとすると同時にさみしい気持ちの浮かぶ今日この頃です。

新型コロナウイルスは今まさに5類への見直しがなされようとしております。私もここに風（風邪）と共に去りぬ、としゃれてみたいと思います。長らくの協力本当にありがとうございました。